

## 2023 年度後期 START プログラム 事後レポート

|            |                  |
|------------|------------------|
| 所属学部・学科・学年 | 医学部保健学科看護学専攻 1 年 |
|------------|------------------|

(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

START プログラムに参加して、いろんなことに目を向けることや自分から挑戦することの重要性を学んだ。このプログラムに参加する前は「看護師になるために大学へ来たのだし、看護の勉強だけをしていればいいや」と思っていたが、マラウイ・ザンビアで様々なことを学び、またアフリカの現実を見て、専門分野以外のことももっと知りたいと思った。

現地の方たちの温かさに触れたり、学ぶ意欲に満ちあふれた子どもたちと交流したりして自分の中のアフリカに対するイメージが変わった。豊かさというのを経済的な視点からしか見ることができていなかったことに気づいた。現地で新しい経験をするのはこんなにも自分の価値観やものの見方を変えるのかと思うと同時に、途上国の厳しい現実も見た。人口の 8 割近くが農業に従事する農業国で、典型的な天水農業が中心となっているがゆえに経済基盤が脆弱で、住民の多くが貧困に苦しんでいると知った。また、多くのストリートチルドレンが安価なシンナーでいろんな欲求を満たしている姿、道端で物乞いをしている幼い兄弟の姿、以前は学校に行っていたのに今はストリートで生活している子どもの姿などを見て、2 週間で限られた場所しか訪れていないけれど自分が知らない場所で多くの人がこういった生活をしているのかと考えると心が痛んだ。訪問した医療施設では、医師の診察を待っている間に母親の腕の中で幼い子どもが亡くなっていくことも少なくないと聞き、途上国の医療サービスの質の低さを痛感した。さらに国が経済的に発展していけばもっと格差が広がっていくのかなと思うとやるせない気持ちになった。

マラウイ・ザンビアでいろんな現実を見たり、JICA 事務所や実際に現地で隊員として働いている方たちからお話を聞いたりして協力隊の仕事にも興味を持った。看護師として患者さんのケアにあたるというより、病院運営管理や感染症・エイズ対策、地域住民への疾病予防の啓発活動などが役割となってくると思う。公衆衛生等の専門知識も身に付けられるように看護師に加えて保健師の資格も取得できるように勉強を頑張りたい。

看護師になることを目標にしてからは自分の将来に迷いがなかった。早い段階でやりたいことが見つかっていることはよいことで、それに向かって頑張るだけだと思っていたが、マラウイ・ザンビアに行ってから自分がしたいこと、すべきことは何なのかとても迷っている。でもこの迷いは START プログラムに参加したからこそこのよい迷いだと思

う。今回の留学でアフリカに対するイメージ、自分の将来のビジョンに変化があったように、もっといろんなことに目を向ければ自分の固定観念や価値観、考えが変わっていくのだと思う。この 2 週間で、専門分野だけではなく社会問題や政治、文化などいろんな視点から物事を捉えられると自分の視野が広がっていくと感じたので、これからの大学生活でいろんなことを吸収していこうと思う。

現地の人たち交流する中で伝えたいことが話せない、質問できない、相手のことをもっと理解したいけど何を言っているのか分からないといったことがすごくもどかしかった。異文化理解やコミュニケーションを楽しむにはどんどん話すしかないことや、そこに行ったら勝手に何かを得られるのではなくて何かを得ようと自分から努力したから得られるものがあることを実感したし、英語の楽しさにも気づけたからこれからも学び続けたい。

異文化の中で刺激的な毎日を過ごした経験をここで終わらせないようにしたいと思う。

#### (2) プログラム内容についての全体的な感想

移動は大変だったけれど、マラウイでもザンビアでも主要都市以外を見ることができたことで、実りの多い 2 週間になったと思う。首都とその隣の都市を比べても発展の度合いが全然違って、同じ国でも雰囲気が全く異なっていることを体感できた。目に映るものすべてが新鮮でとても充実した 2 週間だった。

マラウイでは現地の方が一緒に行動してくれたことがとてもありがたかった。移動中の車内で自然や文化など多くのことを教わり、たくさん話して仲良くなれたので貴重な時間だった。たった 1 週間しか行っていない、しかも行くまでは名前すら知らなかった国のことをこんなに好きになれたのは、現地の方が一緒にいてくれたからだと思う。

現地の医療を見てみたかったので多くの医療施設を見学することができてよかった。

マラウイでもザンビアでも実際に協力隊として活動している方たちと話す機会があり、同じ日本人が現地で奮闘している姿を見ることはとても良い刺激になった。

教職員の方々や周りの学生、現地の方などいろいろな人に支えてもらったから 2 週間で濃いものにできたと思う。

START プログラムに応募して、またマラウイ・ザンビアコースを選んで本当に良かった。

（3）今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

初めての海外、初めての留学で不安もあったが、先生や職員さん、一緒に参加する学生たちという万全のサポート体制の中で、日本では絶対にできない経験を積むことができたのですべての人におすすめしたいプログラムだと思う。1 年生という早い段階でいろんなことを学べば、それだけ将来のことを考える時間もあるからぜひ挑戦してほしい。現地では想定外のことがたくさん起こるので入念に準備をしておくと思う。（日本食や軟水の準備、防犯対策など）

## 2023 年度後期 START プログラム 事後レポート

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 所属学部・学科・学年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 文学部 人文学科 1 年 |
| (1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |
| <p>今回 START アフリカに参加して、マラウイ・ザンビアの実態、国際援助の様子、行動することの大切さの主に 3 点の学びがあった。</p> <p>高校や大学、人生の中で学んだ既知の事実と現地で得た未知の事実から自分なりの考察を得ることができた。既知の事実と全く違う面もあり、いかに自分が先入観を持っているかも分かった。特に、食生活は想像と違い、かなり西洋化が進み、街で見かける成人も日本より肥満体形が多かった。また、実際に現地で訪れた病院では、衛生的とは言えない設備や外で待たされる患者もおり、病院の隣にはごみの山が確認できるなど、医療体制はかなり不十分だと感じた。アフリカは平均的に健康寿命が短い、保健医療、衛生に加え、食文化が関係すると感じた。さらに、農業の設備の不足や内陸国ならではの経済活動の難しさ、先進国・周辺国の資本の流入など課題が多く感じられた。</p> <p>低中所得国に対する国際援助では、JICA が長期にわたり国の発展に大きく寄与していることが分かった。マラウイとザンビアの隣国の JICA でも活動内容が違って、時期や発展の程度に合わせた効果的な援助・支援の計画を作成していた。日本以外の国の援助も見られ、特に中国の存在が目立っていた。また、国連の機関や組織、採択された取り組みなども現地で見られた。</p> <p>今回のプログラムに参加するにあたって不安や緊張があったが、実際に参加したことで日本にいただけでは得ることのできない様々な経験をする事ができた。行動を起こすということは大切だと感じ、国際交流や長期留学への意欲がより一層高まった。これからの学生生活や、専門分野に関する知見が得られた学業面でも積極性を持って行動しようと思う。</p> <p>今回のプログラムで得た経験・知識・意識を十分に活用し、グローバル化が進む現代社会で必要な存在になるべく、自分自身を見つめ直していこうと考えている。</p> |              |
| (2) プログラム内容についての全体的な感想                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |              |

十分に満足できた。長時間の移動や過密なスケジュールで疲れはあったものの、最大の懸念事項であった身の安全に関し、海外派遣・留学入門での学びや、現地の付き人の存在、安全な生活環境のおかげで脅かされたと感じることはなく、楽しく生活することができた。通常では味わえない、現地の教育・医療の現場や国際協力機関を視察することができ、貴重な経験であると認識しており、とても感謝している。アフリカはこのような機会でしかなかなか行く人はいないと思うので、セキュリティの都合もあるかとは思いますが、是非、継続してほしいと思う。

### （３）今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

まず一番感じることは、START プログラムに参加したことで少し人生の何かが変化したことです。言語化するのは難しいですが、参加前後で物事に対する自らの意識の変化を感じており、参加してよかったと思います。私は今まで海外に行ったことがなかったのですが、地理が好きで異文化に興味があったし、ずっと留学を経験してみたいと思っていました。私は、大学に入学してグローバル化推進グループに留学についていろいろ聞こうと思って訪れた際に、海外経験がない学生が段階を踏む形で留学していくということで START プログラムを紹介していただきました。自分以外の誰かがきっかけを作ってくれることもあるので、自分の意欲を対外的に発信することも大切ではないかと思います。

新しいことへの挑戦や英語で会話すること、異文化に触れて過ごすことに若干の抵抗がある人でも、START プログラムなら複数の参加者と行動できるので安心することができます。英語に自信がなくても話しかける勇気と事前に得た渡航先に関する話題があれば、現地の人と自然と会話も続きます。

大変なこともあるとは思いますが、頑張ってください。